

# 『抗日パルチザン参加者たちの回想記』読書会

死んでもいっしょに死に、  
生きててもいっしょに生きよう——— チェ・チュングク (キム・ビョンシクの回想)

この人たちを永遠に生かすために  
30年余をかけて全巻を翻訳した鈴木武さん——— 何としてもこの翻訳を完成させよう

「もしもお父さんがその走狗の役割をやめない日には銃で撃たれると思ってね」  
……彼女はついに家を出て遊撃隊に入った——— ホ・ソンスクを追憶するファン・スニの回想

テキスト 『翻訳と連帯 ある寄せ場労働者の「抗日パルチザン参加者たちの回想記」翻訳の軌跡』  
(同志社コリア研究センター、2023年3月17日、非売品、A5判328ページ)

日時 **5月20日** 場所 **赤羽北区民センター** (赤羽北ふれあい館)  
(土曜日) 午後1時~4時 第1和室 (椅子・座布団あり。アクトピア北赤羽六号館3階)  
JR埼京線「北赤羽」駅赤羽口から徒歩1分、北区赤羽2-25-8

参加費 ひとり**500円** (要予約)

主催 前田年昭

予約・問合せ メール [tmaeda1966516@gmail.com](mailto:tmaeda1966516@gmail.com)  
電話 080-5075-6869 (前田)

- ・参加希望の方は事前にお申し込みください (電話・メール)
- ・当日は主催者の問題提起 (30分) の後、全体と特に13話、14話、15話について感想や意見の交流、討議を行います
- ・あらかじめ電子版 (無料公開) を読んできてください (下記参照)
- ・電子版を読めない方はご相談いただければ、実費でコピーをお送りします



『抗日パルチザン参加者たちの回想記』(朝鮮労働党出版社刊)は、1930~40年代、日本の侵略に抵抗した朝鮮人民による抗日武装闘争の回想記です。

- 革命の同志を回想して (全9話)
- 不屈の女闘士たち (全7話)
- 必勝の信念 (全4話)
- 革命的信義で結ばれた同志たち (全3話)
- 不敗の隊伍 (全3話)
- 革命のつぼみたち (全1話)
- 人民のうみの中で (全1話)

膨大な証言は、朝鮮や中国の人びとの抵抗を貫く「労働者に国境はない」という立場を教えています。同時に、私たち自身は、当時朝鮮を侵略し今なお南北分断に加担している日本の一員だという事実から逃れることはできません (裏面歴史年表参照)。

訳者・鈴木武さんは、この『回想記』の翻訳を日雇い労働のかたわら続け、30年余りをかけて全12巻を完訳しました。

このほど刊行された『翻訳と連帯 (同志社コリア研究叢書5)』(非売品)に、『回想記』全264話から特選集



原書(左)と翻訳ノート(右)

として28話がおさめられています。電子版が、発行元の同志社コリア研究センターのウェブサイト <https://docs.net/works/publication/korea05/> で無料公開されており、閲覧・ダウンロード・印刷は自由です。右のQRコードを読み取れば、このウェブサイトへつながります。



鈴木さんは、回想記から「人の生には限りがある。しかし歳月の流れにかかわりなく永遠に人々の心の中に生き、聡明な感情と思想を呼び起こすそのような生がある」という一話を引いて、「彼ら彼女らの生が人びとの生きる糧になると信じる」と言っています。

ともに読み、考え、話し合う場を持ちたいと思います。ぜひご参加ください。

	<b>1890</b>	露・韓間に馬山浦租借秘密協定調印
	<b>1891</b>	
	<b>1892</b>	
	<b>1893</b>	
日清戦争(朝鮮の支配権をめぐる戦争)	<b>1894</b>	全琫準(チョンジュン)、甲午農民戦争(～1895)
日清講和条約。三国干涉	<b>1895</b>	閔妃、京城で日本公使らに殺害される
	<b>1896</b>	
	<b>1897</b>	朝鮮、国号を大韓と改める
	<b>1898</b>	[中]変法自強、百日維新始まる。戊戌の政変
	<b>1899</b>	[中]義和団蜂起
治安警察法	<b>1900</b>	[中]満洲に関する露清協定
	<b>1901</b>	
	<b>1902</b>	
	<b>1903</b>	
日露戦争(満洲と朝鮮の支配権をめぐる戦争)。日韓議定書で朝鮮を「協力国」に	<b>1904</b>	日韓議定書、第1次日韓協約、顧問政治によって日本の属国化
韓国統監府を設置	<b>1905</b>	第2次日韓協約で日本に外交権を剥奪さる
	<b>1906</b>	崔益鉉(チェイクン)、全羅北道で抗日の拳兵
	<b>1907</b>	第3次日韓協約、次官政治で事実上日本植民地に。義兵闘争
	<b>1908</b>	洪範図(ホンムド)独立軍
日本、清と間島に関する協約	<b>1909</b>	安重根(アンジュン)、初代韓国総監・伊藤博文をハルビンで射殺
韓国併合	<b>1910</b>	「韓日併合」、土地調査事業
大逆事件。工場法	<b>1911</b>	[中]辛亥革命
	<b>1912</b>	[中]清朝滅亡
	<b>1913</b>	
第1次世界大戦(～1918)	<b>1914</b>	
日本、中国に権益拡大の21カ条要求	<b>1915</b>	
	<b>1916</b>	
	<b>1917</b>	[露]10月革命
シベリア出兵(ロシア革命への帝国主義列強の干渉戦争)(～1922)。米騒動	<b>1918</b>	
	<b>1919</b>	独立宣言、示威(三一運動)。大韓民国臨政(上海)。[中]五四運動
	<b>1920</b>	間島虐殺事件。大韓独立軍、鳳梧洞戦闘、青山里戦闘
	<b>1921</b>	
日本共産党創立。全国水平社創立	<b>1922</b>	申采浩(シンテホ)、朝鮮革命宣言
関東大震災。民間自警団と軍警、朝鮮人を虐殺	<b>1923</b>	
	<b>1924</b>	
治安維持法、普通選挙法。日本労働評議会結成	<b>1925</b>	朝鮮共産党結成
日本労働党結成	<b>1926</b>	反日万歳示威運動
	<b>1927</b>	新幹会結成
	<b>1928</b>	元山でゼネスト
	<b>1929</b>	
	<b>1930</b>	間島で朝鮮人武装蜂起。[台湾]霧社事件(セデック族)
満洲事変	<b>1931</b>	[中]中華ソビエト共和国臨時政府
満洲国、建国宣言	<b>1932</b>	李奉昌(イボン)、天皇暗殺未遂。尹奉吉(ユンボン)、上海虹口公園爆破
日本、国際連盟脱退	<b>1933</b>	
	<b>1934</b>	東北抗日聯軍。[中]紅軍、長征開始
	<b>1935</b>	コミンテルン第7回大会
	<b>1936</b>	祖国光復会。東北抗日聯軍(1942朝中ソ連合軍編成)
日中戦争(中国への侵略戦争)	<b>1937</b>	総督府により日本語使用・神社参拝を強要さる。普天堡(ボンポ)戦闘
国家総動員法、「内鮮一体」を掲げ皇民化政策	<b>1938</b>	
第2次世界大戦(～1945)。企業に徴用代行させる労務動員計画	<b>1939</b>	総督府により「創氏改名」強要さる
大政翼賛会	<b>1940</b>	
	<b>1941</b>	
	<b>1942</b>	朝鮮独立同盟、朝鮮義勇軍
「募集」から「徴用」へ労務動員本格化	<b>1943</b>	100万～150万人が強制連行・徴用さる(1939～45)
	<b>1944</b>	朝鮮建国同盟
日本、朝・中人民と反ファシズム陣営に敗戦。朝聯結成	<b>1945</b>	解放(光復)。朝鮮建国準備委員会。朝鮮共産党再建委員会
天皇人間宣言	<b>1946</b>	
総司令部、ゼネスト中止を命令	<b>1947</b>	
阪神教育闘争	<b>1948</b>	済州島4・3蜂起。大韓民国。朝鮮民主主義人民共和国
政府、朝聯・民青を強制解散	<b>1949</b>	[中]中華人民共和国
祖防委・祖防隊。出入国管理庁設置令、大村収容所	<b>1950</b>	朝鮮戦争(～53)
民戦結成。サンフランシスコ講和条約、日米安保条約	<b>1951</b>	世界平和評議会
外国人登録法、破防法。メーデー事件、吹田枚方事件	<b>1952</b>	

【出典】『近代日本総合年表 第四版』(岩波書店)、『在日朝鮮韓国入史総合年表』(雄山閣)、梶村秀樹『排外主義克服のための朝鮮史』(平凡社)、康成銀『康ソンセンニムと学ぶ 朝鮮と日本の2000年』(スペース伽耶)、『朝鮮韓国近現代史事典』(日本評論社)、『100年のあかし』(在日韓人資料館)